

熊本大学学術リポジトリ

Kumamoto University Repository System

Title	秋・病床の思出 : 歌
Author(s)	北古賀, 保定
Citation	龍南, 2 1 1 : 2 8 - 2 8
Issue date	1929-12-10
Type	Departmental Bulletin Paper
URL	http://hdl.handle.net/2298/6900
Right	

秋・病床の思出

北古賀保定

沖邊行く汽船の煙蹄きをり新銀村の晝の静けさ

唐黍の枯葉のさやぎさやくと秋の日白く野路に耀ふ

秋雨に書静かなるさ庭べにひた紅の檀特の花

蛇の主住むてふ小沼の静かさや雲影一つ動かざりけり

朝風に背冷やくとし床の上に座り直りて粥喰す吾は

老いし母思へばいと悲しかり野風呂の煙白々と見ゆ

をち山の高嶺に朝日射す見えて退院近く今日も晴れたり

朝さらす日光さし来る窓先に蒼空見えて秋づきにけり

この朝け秋の山里しぬびつゝ幼心地に吾がなりにけり

硝子戸の外面の風はぬるむらし秋の日射しに女郎花揺る